

合言葉は「クリシン！」(高1：第2回 CTP)

クリティカル・シンキングを身につけよう



↑ 13班(3組)の発表

↑ 9班(2組)の発表

2016年4月28日(木)、6限目のCTPと7限目の総学を使って、**第2回CTP**を実施しました。本校では、これまでも高1でCTP(Critical Thinking Program 1単位)を行ってききましたが、SGH活動を推進するにあたり、**アクティブラーニング**を取り入れた内容に一新しました。

Critical Thinking は、「**批判的思考**」と訳されていますが、それは他人を批判したり、けちをつけたりする手段ではありません。自分自身の考え(**常識**)を疑い、様々な根拠や証拠(**エビデンス** evidence)をもとに、あらゆる角度から考え、答えに近づいていく思考法です。今回は、最も身近な常識を疑うことにチャレンジしました。その常識とは？

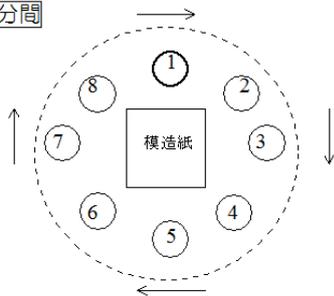
SGHって、なんかスゴイらしいけど(=常識)、どんなメリット(期待)があるの？ デメリット(不安)は？

☆**メリットを最大化、デメリットを最小化させる方策を提言せよ**

<方法>

(1) ブレインストーミング

20分間



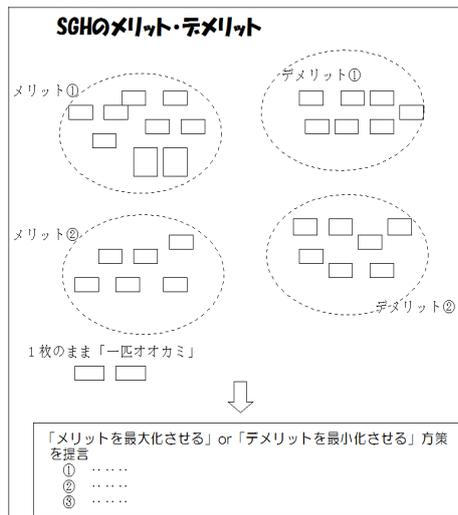
- ① 8人が模造紙を囲んで座る。
- ② 進行役を決める
- ③ 順番に、メリットまたはデメリットを書いた付箋紙を模造紙に貼る。(平凡、つまらないのではという考えを捨てよう。質より量!) これを3周する。

(2) *KJ法による整理と提言の作成

30分間

(↓模造紙)

*KJ法：集まった情報をカードを使ってまとめていく方法



- ① まず、メリットとデメリットにわけろ。
- ② メリットの中で、同じカテゴリーのものをグループ化してタイトルをつける。
- ③ デメリットについても同様にグループ化してタイトルをつける。
- ④ 「メリットを最大化する」あるいは「デメリットを最小化する」ために、何をしたらいいか、何が必要か、何があったらいいか、等について方策を考える。
- ⑤ 模造紙に書き込む
→プレゼンのポスター作成

(3) 発表 ～ 今回は時間の関係で代表2班に発表してもらいました。(各5分程度)

○班のメンバー
 ・中澤、野原、春山、中島、古谷、前田、長谷川、廣瀬
 (2組)

○メリット
 ・貴重な体験ができる
 ・授業が面白くなる
 ・世界が広がる
 ・コミュニケーション能力が高まる等

●デメリット
 ・プレッシャーが大きい・まだ実感が湧いてこない
 ・生徒の間で意欲の差がでてしまう・常に見られている気がする 等

☆提言：デメリットは、克服することで肥料になり、SGHの木に大きな実果を实らせることができる。

○班のメンバー (3組)
 ・熊倉、小松原、杉山、鈴木、嶋崎、栗原、鈴木、関

○メリット
 ・プレゼンがうまくなる・いろんな人と仲良くなれる
 ・コミュニケーション能力が高まる・グローバルな活動ができる・大学進学に有利

●デメリット
 ・研究をやると自分の時間が減る・大変そう・忙しい
 ・うまくいかかわからない・授業日数が減るかも

☆提言：メリットを最大化し、デメリットを最小化するには「全員がやる気を出せるような魅力をもったアクティブラーニング!!」が効果的。

<他の班のポスター>

<主な感想等>

- ・時間が短くても、みんなで協力すれば良いプレゼンができることがわかった。
- ・みんなが色々な意見を持っていたので話し合いが進み、賛否の意見もしっかり出てとても充実していた。
- ・SGHに対してのみんなの意見がわかって良かった。
- ・みんなで意見を出し合ったり、反論ができたり、何でも言える雰囲気になっていて良かった。
- ・予想以上にたくさんの意見がでて、SGHのメリット(期待)やデメリット(不安)について深く考えることができた。
- ・グループワークが上手にできたと感じる。たくさんの意見がでた。
- ・もう少し時間が欲しかった。



